

発行所 飯田市竜丘公民館
 編集人 竜丘公民館広報委員会
 印刷所 龍共印刷株式会社
 上郷町黒田 22-5353

人口 6,118 人
 男子 2,925 人
 女子 3,193 人
 世帯数 1,701 戸
 (63年2月末現在)

来期に向けて

各種団体長に聞く

《公民館》 民俗資料館の建設を 好評だったワープロ教室

年度当初の委員総会において(一)住民の学習要求に応える学級講座の充実、(二)自主グループの育成につとめる、(三)地域や生活の課題にとり組む市民セミナーを推進する、等七項目の目標を確立して発足したが、各部署委員・分館役員のボランティア精神と積極的な活動によって所期の成果を納めたことを感謝したい。

講座の内容、委員会の行事については分担任で執筆されるので、ここでは先の目標からいくつかの事業を振りかえって、来期への展望をしてみたい。

まず学級講座では、ワープロ学習、スリム教室、親子体操、成人学級があり、いずれも参加者のニーズと合致してすばらしい成果を収めた。来年度への要望も強いので継続したい。また同和教育は現代社会の避けて通ることのできない社会的要求として開設したが三回の講座に多数の参加者があり成果があった。

文化部では文化祭の展示物の内容も年毎に充実、行事も多彩となって参観者も多く好評であった。市民大広報部は四回にわたる

「中老会」などと言って、老人クラブに入らない人がいると言います。「ゲートボール」もできない。遠い旅行は心配で行けぬ。クラブ活動もできない。というようになってから、老人クラブへ入るのも遅い。

少なくとも、六十五歳になつて、会長さん達から勧誘されたら早速会員に入つてほしい。忙しいけれど、都合つく時出ればよい。会費は、単老が年約千円、竜丘が三百円です。安いものです。

順番が回ってきたら班長さんも引き受けて下さい。

自負心をもって

前老人学園長 笹岡 秀郎



この単老から成り立っている。年に二、三回教養のための講演会を行います。年一回竜丘として二泊三日の統一旅行をしています。出雲鳥取、中尊寺松島、立山

勝し、県二国体へ出て銅メダルを買ったほどです。梅の栽培、瓢箪、菊、七郷の精神に依り自由な気持ちで団結し、教養の向上と福祉、健康の増進を図る」を目的としています。養老院ではありません。

「たつおか」の発行に努力されているが、定期発行のためには委員が分担した原稿を期日までに出すことが必要で来期への反省としたい。

民俗資料保存委員会は竜丘独自の委員会で十五周年を迎え、本年度は特に収蔵票の整理に努力されて資料館の内部が一段と整備された点を特筆したい。今後豊富な資料が維持保存されるため、多くの人の参観に供するためには新しい資料館の建設ということが地区にとつての大きな課題と言え

あなたも私も家庭消防士

— 婦人防火クラブ結成 —

日頃家庭で火を取り扱う機会が多い婦人の皆様が、火災予防の知識を勉強され、恐ろしい火災の防止に役立つ事が重要であると考へます。

本年三月中旬現在消防組合全体としては、昨年同様の三倍以上の四十三件の火災が既に発生しております。例年異常乾燥状態が続き火災の増える四月・五月を目前に、一般家庭におかれましては更に火災予防に注意されると共に、防火クラブ員の皆様には消防団な



やってみれば簡単よ

《自治会》 着々と進む 道路改良

昨年四月自治協議会長を拜命致し、五里霧中の内に早一年を過ぎました。顧みずれば、支所長も新任、私も新任、加えて三区長も新任という中で、事業推進のうえで一方ならぬ苦勞もありましたが、総務社会委員会、建設産業委員会の二つの委員会を中心に、それぞれ細部にわたり検討をいたし、役員会においての処理も大変スムーズに行な

さて、当自治会のこの一年間の主な事業を振り返って見ますと、まず当地区で一番遅れている関係の土木・河川事業であります。ご承知のように、南原橋、天竜橋を渡って国道・中央自動車道へ行く当地区内の道路(特に県道が非常に悪く、地区としても長年早期改良が望まれていたところがございますが、地元県議

見よ！ 婦人の活動を

《婦人団体連絡協議会》

婦人団体では、家庭を大切にし資源愛護に努め生活を豊かに、そして婦人がまるとり明るい地域作りを進めるようとの基本方針に、次の事を行なつて参りました。

一、牛乳パックの回収
 昨年度は五百九十箱集め、資源を大切に皆様のご理解ご協力により順調に工事が進められているところであります。

二、ミニバレーボール大会
 天竜川治水対策事業につきましては、ご承知の如く地権者の皆様に種々問題点もあり、前進の兆しが見られないのは誠に残念なところでございます。

その他、保育園の建設、運動広場、余熱利用施設の建設等々数多くの事業が残されておりますが、いずれにしても、地元市議会議員の三方の御指導の下に、県・市に対し強力に働きかけ、地区発展のために自治会委員一丸となって努力致す所存でございますので、区民各位の御理解あるご支援をお願い申し上げます。



工事が進むクリーンセンター

「人々はいつこの過ちを気づくだろう」この言葉が心の中に残っております。来年度は引き続き牛乳パックの回収と、手作り石鹸の普及に努め、ミニバレー大会を通じて地域婦人の相互の理解を深め、この団体に参加することにより、よりよい生涯学習教育の場を持ち、竜丘地区の婦人が一つの大きな輪を作り活動していききたいと思ひます。

資源保護のために牛乳パックの回収(単位kg)

地区	1回目	2回目	3回目	4回目	5回目	計
駄科	14	52	45	8	37	156
長野原	26	57	50	19	41	193
時又	38	65	50	27	31	211
桐林	25	61	54	9	35	184
上川路	5	17	3	14	3	42
計	108	252	202	77	147	786

牛乳パックの枚数 約 23,580枚

今日消防団員の確保が困難になって来た。籍があっても人がいない。何らかの理由で断られる。地域消防を行なつていく上で、支障を来たしやうい。もっと消防に理解を。

貯水槽は車庫でない！
 貯水槽の上、又は付近へ駐車されると消防自動車は近よれません。消火作業が著しく困難な事になるのです。貯水槽とはどういう役目をするのかを考えて。

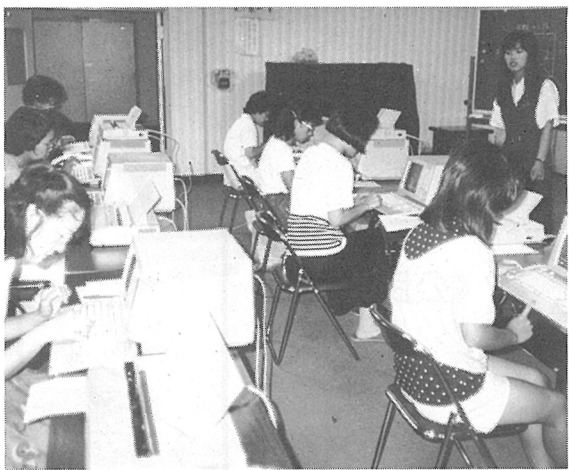
車は車庫へ！
 路上に駐車してある車が非常に多い。広い道でも車の分だけ狭くなるから、当然車の流れが悪くなる。緊急自動車の活動が妨げられてしまつてはどうしようもない。道路に今駐車されているあなた。今すぐにも車を車庫へ入れて下さい。

六十二年一月より三月中旬までに広域消防飯田管轄において四十数件の火災が発生しています。

▽家の消火器、今どこに！
 普段役に立たないのが消火器である。台所の隅や、物の陰に隠れていたり、すぐ手の届かない棚の上に置かれていたりする。初期消火に重要な消火器がこんな状況では役に立たない。家の人全員がどこにあるかを知り、いざという時使える場所に置く必要がある。

▽難聴地区の改善を！
 現在竜丘に防災無線線があるのは支所前、島地区と二基である。屋外の人達の緊急連絡手段である無線線が、桐林・駄科では聞こえないのである。松尾川路、竜江の無線線が時々聞こえる程度で、日中家にいない消防団員にとつて非常に問題になって来る。なんらかの措置を早急にとる必要がある。

▽入ろう消防団に！
 今日消防団員の確保が困難になって来た。籍があっても人がいない。何らかの理由で断られる。地域消防を行なつていく上で、支障を来たしやうい。もっと消防に理解を。



私にも打てます

手紙、はがき、通知文書など、ワープロで作成した文書が、年々増えており目にする機会が多くなっています。

まず、この文字を作り出すワープロを「実際に自分の手で触れて体験を」と呼び掛けてワープロ教室が、

私も挑戦!!

ワープロ教室

去る七月九日から六回開催され、募集人員を上回る三十二名が参加しました。参加者の多くは見るのも、触れるのも初めての人がばかりで、指導員に教わり四苦八苦しなごの取り組みとなりました。参加者は「こんな楽しいものとは思いませんでした。この様なすばらしい機械が、この世にあったなんて驚きです」又、他の参加者は「自分とは無関係な物と思ってきましたが、やれば出来るかもしれない」「もう少し習ってみたい」等々、この教室に参加したことで、文書を作り出す楽しさが少しずつわかり興味も湧いて来たようです。

区民で創った文化の祭典

—表札にみる今昔 大好評—



みごとに育った菊

山の峰々には、一足早く初雪の便りが届き、里では爽やかな秋、文化の秋の十一月十四・十五日の両日、地区民の日頃の活動の成果を一堂に集めた、竜丘地区文化祭が、竜丘小学校で今年も開催されました。

いい作品や小学校の児童の素直な作品のコーナーでは、御孫さんの作品に見入っているおじいさん・おばあさんの姿が印象的でした。又、私の作品のコーナーは、自由作品で手芸・編物・書・絵画等多数出品されて地域の名画伯や隠れた名人の存在を知る事ができたり、毎週公民館でキャンパスに向かつて四年目の油絵

教室の皆さんの作品を見て、上達の素晴らしいに驚かされました。民俗資料館に足を運ぶと「表札にみる今昔」と役場・小学校・郵便局・農協・電気利用組合等の懐かしい古い写真や表札が展示され、懐かしそうに、当時の思い出話に花がさいたり、当時の知らない若者や子供達にとっては、竜丘の歴史を知る事ができ良い企画であったと思います。

身近にある差別をなくそう

去る三月二十七日、公民館にて伊賀良小学校の関島祐輔先生を講師にお迎えし社会問題学習会第二稿が開催されました。今回のテーマは「大江列車は果てしなく続く」として、現在にもこの差別問題について、同和・差別は私達自身の問題である事を学びました。参加者は十五名ほどでしたが皆さん大変熱心に聴講され、アツという間の二時間でした。

最後に、大人の不用意な言葉や思いが、子供の差別の芽を育てている事を多くの皆さんにも聞いていただけたら、と思いました。



中国の農村(石家荘 崗上村)にて

昨年八月、私は信州青年の連帯の船に参加し、中国を訪れました。青島港に接岸し、石家荘、北京、天津と約五日間の中国です。四百人近い団体の移動は列車とバス。宿泊は、ホテルを貸切り。列車は果てしなく続く畑や、平地を走り霞む地平線に沈む夕陽、のんびり働く農夫や牛

私の見て歩記

中国青年とのスポーツや交歓会で交流してきました。又、夜、中国人のガイドさんを囲んで、中国の事、日本の事を語り合いました。一人っ子政策、勉強、結婚の人、座り込んでいる人、ウロウロしている人、なぜ平日の昼間にのんびり屯しているのだろうか？私観ではありますが、彼らにはせかせかする様子が全くなく、時計もノルマもないの出会った中国青年は向学心に燃えるエリートで、中国の新しい力を感じました。職業は国から与えられる中国人にとって勉強する事が出世の方法との事。本当に勉強しています。

新しい民俗資料館を夢みて

民俗資料館は、今迄の活動を反省し、これからの指針を得たいとして、委員会の設立十五周年を記念して、この二月二十八日、来賓、歴代館長、主事、委員を多数迎え「民俗資料館の想い出と今後を語る会」を盛大に開催した。前夜の雪が残る中、午後三時から、歴代委員の努力で辛うじて風雨を凌いでいる

民俗資料館の現状を視察したる資料館の現況を視察した後、会場を開善路に移し、資料蒐集当時のご苦労の様子や近い将来、補修が限界になるであろう資料館について、活発な話し合いが行なわれた。その中で、「資料館を地域のものとすためには、常に公開されていることが重要であり、そのための場所・施設・体制について、地域の課題として議論を興すことが急務である」との意見の集約がなされるに有意義であった。



歴史を感じさせる品々

竜丘再発見

—市民大学講座開かれる—

今年で第九回の竜丘市民大学講座は、「ふるさと再発見」をメインテーマに、一地域を更に深く認識し今を見つめよう」と竜丘を知ることを中心に講座が開かれた。延べ受講者は百七十名余り、当講座も地域に定着してきた。残暑厳しい八月二十九日、九月三日、五日の三回の講義が竜丘公民館を会場に夜間開催された。

期日	テーマ	講師
8/29	自由画教育と木下紫水	郷土史家 北沢小太郎さん 飯田創造館 南島 金平館長
9/3	森林保護と国有林の現状	飯田営林署 村田 史郎署長 竜丘財産区 今村 周巳議長
9/5	竜丘の蝶 蝶の生態と自然保護	上郷小学校 牧内 博先生
10/11	財産区を知ろう 鳩打ち峠ハイキング	共催：竜丘地区財産区議会

竜丘民俗資料委員会の歩み

年度	事業の概要(思い出すままに)
昭和46年度	市教育委員会の呼びかけに応じ、当時の文化委員会が主体となり各分館の応援を得て民俗資料の蒐集を行なう。
47年度	小学校100周年記念行事に協賛し、収集した資料の展示を行なう。
48年度	収集した資料を永く大切に保管するには、専門の委員会が必要であるとして、49年3月24日に資料委員会を発足する。
49年度	資料保管庫の建設 史跡巡り(8月25日上川路方面) 戸隠方面へ研修視察
50年度	公民館建設に併せて、「写真でみる竜丘」の編集と発行。地区内石像文化財の調査を文化委員会と共に行なう。
51年度	文化祭に「石像文化財」の写真展を行なう。駄科「薬師寺」建物調査を行なう。
52年度	資料館の修繕を行なう。宮洞窯跡地踏査文化祭に「養蚕に関する展示」を行なう。
53年度	文化祭に「桐林の人形」の展示を行なう。
54年度	「丘の語り部たち」の原稿募集と整理
55年度	「丘の語り部たち」発行 希望多く完売
56年度	民俗資料館建設について各方面へ陳情
57年度	再び文化祭に「石像文化財」の写真展を行なう。
58年度	文化祭に「おしんの頃の家」の展示を行なう
59年度	資料館修理(南側窓へコンパネを張る) 文化祭に「消防と旗」の展示を行なう。
60年度	「丘の語り部たち」第二集の発行 文化祭に「刻と灯かり」の展示を行なう。
61年度	文化祭に「夜なべの頃」の展示を行なう。
62年度	文化祭に「表札と写真展」の展示を行なう。 収蔵票の点検と整理、資料の手入れを重点的に行なう。 15周年記念行事の実施

・毎年度行なった資料館の整理等は省略

